

専門（社会福祉）

社会福祉概論

子ども・子育て支援新制度における保育所，幼稚園，認定こども園に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つあるが，それらはどれか。

- ア．利用する際には，保護者は市町村の支給認定を受ける必要があり，子どもの年齢と保育の必要性に応じて認定区分がなされる。
- イ．就労を理由とする利用の場合，保護者は就労時間にかかわらず保育の利用時間を選択できる。
- ウ．幼保連携型認定こども園は，法律上は「学校及び児童福祉施設」として位置付けられた。
- エ．新制度に移行する幼稚園，認定こども園の保育料は，子どもの年齢に応じた一律の額となっている。

- 1. ア，イ
- 2. ア，ウ
- 3. ア，エ
- 4. イ，ウ
- 5. イ，エ

(正答 2)

社会福祉概論

ケアマネジメントに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ケアマネジメントは、欧米における1960年代の施設内ケア拡充の動きの中で活用され始めた技術である。
2. ケアマネジメントは、人間関係維持のための相談援助や社会資源活用のための支援を含むものと位置づけられている。
3. ケアマネジメントは、日本では1970年代に導入され、現在では医療・高齢・障害・児童の各分野で制度化されている。
4. ケアマネジメントは、多職種の中における社会福祉援助職の独自性を明らかにするために導入された技術である。
5. ケアマネジメントは、利用者のニーズをアセスメントし、それに応じたサービス・パッケージの作成をもって終結する。

(正答 2)

社会調査

調査対象者の回答をいくつかのカテゴリーに分類して、それらに対して一定のコードを定め、個々の回答をその定めたコードで記号化する作業をコーディングといい、プリ・コーディングとアフター・コーディングに大別される。コーディングに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. プリ・コーディングは、調査対象者の自由な考えを引き出したいときに、主に自由回答などの形式の質問で用いられることが多い。
2. プリ・コーディングは、回答が極めて多様であり、どのカテゴリーにあてはまるのか、調査対象者が判断することが困難な場合に限定すべきである。
3. プリ・コーディングによって作られる選択肢は、調査対象者に混乱を与えないように、かつ、その後の分析に支障が出ることはないように、相互に排他的である必要がある。
4. アフター・コーディングは、予備調査などが行われ、調査対象者の回答がある程度予想可能な場合に適している。
5. アフター・コーディングは、調査対象者や調査員に対する負担が小さく、現地調査後の作業も少なく済む。

(正答 3)